

アシスト

市川市サッカー協会第4種委員会 委員長 石原孝幸

市川のサッカー文化を強く感じました

先月9月21日には「ジュニアサッカーフェスティバル」が行われました。

「参加するすべての子ども達がプレーヤーとしてサッカーを楽しむこと」をコンセプトにしたこの催しも、今年で2回目。昨年同様、各クラブがチームを組んで参加する形式ではなく、当日集まった子ども達がチームを組み、補欠や控えを無くし、参加したすべての子どもが同じようにゲームに参加できるように工夫し、コンセプトの実現を目指しましたがいかがでしたか。

2年生以上は、昨年も経験している子が多くいたのでしょうか、去年より早く、初めて出会ったチームメイトと打ち解けていたように思いました。もちろん初めて参加する1年生もすぐに仲良しになり、チームの勝利のためボールを追いかける仲間となりました。今年も、参加した約1000名の子ども達全員が大好きなサッカーを楽しみ、お土産までいただいて一日を過ごせたことをとても喜ばしく思いました。

この催しは、沢山の方々のご協力で成り立っています。スポンサーでもある南部支部副支部長の田所さん。主管である北部支部長後藤さんをはじめとした北部支部の各クラブの皆さん。さらに各チームの即席の指導者、審判員として子ども達の面倒を見て下さった総勢約200名の市内各クラブに所属するコーチの皆さんのご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、前回の委員長通信22号で「皆で市川のサッカー文化を築きましょう」と申し上げましたが、自クラブ他クラブを問わず「市川の子を市川全体で育てること」を大人の心構えとして参加して下さった各クラブに所属するコーチの皆さんの心意気と存在は、**紛れもない市川のサッカー文化の一つ**だと思います。今の所このような催しは年に一回ですが、継続して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



また、9月15日には富美浜SCが主催する「YOUKIカップ」にお邪魔してきました。YOUKIカップは、富美浜小学校出身の**Jリーガー阿部勇樹選手がスポンサー**となり、4年生を対象に富美浜SCの招待大会として開催されています。

皆さんご承知のように、阿部勇樹選手は、元全日本代表選手であり、2010年に南アフリカで行われたワールドカップにも出場しています。現在は浦和レッズに所属しており、現役のJリーガーです。

彼は小学校時代、富美浜小サッカー部に所属し市川FC（市川トレセン）にも選ばれ活躍しました。中学時代は、ジェフユナイティッド市原千葉のジュニアユースに所属し、高校時代はそのままジェフユナイティッド市原千葉のユースに進み、高校生の時にプロ契約してJリーガーとなり、その当時の最年少（16歳10カ月30日）で試合出場を果たしています。その後の彼の記録を紐解いてみますと、2004年アテネオリンピック日本代表キャプテン。J1出場記録は通算570試合で歴代4位。J1連続フル出場記録は139試合で歴代7位と、**全日本A代表、Jリーグを代表する選手**の一人であるといえます。

そんな彼がスポンサーとなり、市川のサッカー少年少女のために「YOUKIカップ」という形で、子ども達に夢を与えています。閉会式では、阿部選手自ら、成績上位チームや優秀選手の一人ひとりと握手を交わし、賞状を手渡してメダルを首にかけてあげていました。憧れのJリーガーが目の前にいるだけでも大興奮なのに、握手を交わせた子どもたちは満面の笑みでいっぱいになっていました。きっとさらにサッカーが大好きになったことでしょう。



閉会式の挨拶では阿部選手が子ども達にこんな話をしてくれました。

「みんなはサッカーが好きで上手になりたいと思っているのでしょうか？それは僕も一緒です。**今でも、もっともっとサッカーが上手になりたいと思って練習しています。**全くみなさんと一緒です。明後日試合があるのですが、それにむけて明日練習があります。真剣に練習して、試合のための準備をします。皆さんも大好きなサッカーがもっともっと上手くなるように頑張ってください。」

日本を代表する現役Jリーガーでも、もっと上手になりたいと思って努力している、このことを生で聞いた子ども達は、清々しい笑顔のまま、目は真剣そのものでした。

かつて小学生時代を市川で過ごした日本を代表する現役Jリーガーが、市川の子ども達のために時間を厭わず、長年に渡って夢と希望と喜びを与え続けてくれている。これも**有難い市川のサッカー文化の一つ**だなと感じた次第です。